

名 寄 市

なよろし

面積：555.23km²
 人口：31,182人（平成20年6月30日現在）
 世帯数：14,705世帯（平成20年6月30日現在）
 市の木：シラカバ
 市の花：オオバナノエンレイソウ
 市の鳥：アカゲラ
 市の由来：アイヌ語で「ナイ・オロ・プト」川のそばのくにとという意味から。
 H P：http://www.city.nayoro.lg.jp
 E-Mail：nayoro@city.nayoro.lg.jp



道の駅「もち米の里☆なよろ」



名寄市経済部産業振興課

係長 倉澤 宏

はくちょうもちの大福が人気

名寄市の特産品である「もち米」がテーマの道の駅「もち米の里☆なよろ」。平成20年4月20日に、道内で102番目の道の駅としてオープンしました。道央自動車道の士別剣淵インターチェンジから、名寄方面に向かう途中の国道40号沿いにあり、周囲にはのどかな田園風景が広がっています。



地場のもち米で作る「ふうれんソフト大福」

名寄市は、平成18年3月27日に名寄市と風連町が合併し新たなスタートを切りました。この合併により、もち米の作付け面積は日本一に。品種は粘りとコシがあり、美味しいと評判の高いもち米「はくちょうもち」が主で、風連町時代からはくちょうもちを使った「ふうれんソフト大福」が人気です。道の駅でも広いコーナーを設けて、この「ふうれんソフト大福」を販売していますが、ほかではちょっと見かけられないような、アイデアを凝らした大福がズラリ。例えばチーズ（チーズあん）、メロン（メロンあん）、かぼちゃ（かぼちゃあん）、よもぎ（よもぎ入り粒あん）などなど。北海道産の原材料にこだわり、色も優しくきれいです。自分で自由に、好きな大福を、好きなだけ詰められる方法がとられ、お客さんが途切れることはありません。係の人が、次から次へと補充しています。ぜひ、お土産に。

もち米使用のメニューにこだわって

名寄市経済部産業振興課の倉澤宏係長は「特産品の販売もあり、地元のそば、米、新鮮な農産物、農産加工品、お菓子などアイテム数も豊富です。テイクアウトコーナーでは、すり身にもち米の粉を入れたコロッケ。レストランではもち米の粉を入れたハンバーグと、とにかくもち米にはしっかりこだわり、どこにもないメニューを発信していま



気軽に利用できるテイクアウトコーナー

気軽に利用できるテイクアウトコーナー

す。“もち米って、こんな利用法もあったの？”と新鮮な驚きを覚え、名寄のもち米に親しみを持っていただければと思います。天塩川周辺はそばもよく穫れ、つなぎを使わない地元産の10割そばは独特の風味が楽しめるとあって、1度食べるとりPEATするお客さんが多いんですよ。道の駅“もち米の里☆なよろ”にいらっしゃれば、名寄の美味しいものがいっぱい食べられますから、ぜひお寄りいただきたいですね」と言葉も弾みます。

また、ユニークなものとしてコミュニティFM「Airてっし」のサテライトスタジオがあり、曜日や時間帯を決めここからも放送されています。名寄周辺であればカーラジオから、道路情報やイベントの話題などをタイムリーにキャッチすることができます。周波数は78.8MHzです。ピアノのある休憩コーナーでは、コンサートなども開かれています。

四季を通して楽しめる施設充実

冬の晴れた日、名寄市では気温が氷点下20度前後になると、天塩川で発生した川霧が冷えて氷晶となり、それに太陽光が反射することでダイヤモンドダストが見られます。このダイヤモンドダストに太陽の光が屈折反射して生まれるのがサンピラー（太陽柱）です。自然がもたらす神秘的な美しさが、厳冬期に彩りを添えています。

このサンピラーの名前を配した施設に、道立サンピラーパークがあります。パーク内にはカーリング場や遊具が揃う「サンピラー交流館」、コテージやオートキャンプ場もあり自然と親しめる「森の休暇村」ほか、工房館もあり、今年度より全面共用が開始されました。家族で、グループで楽しめる道北のレジャースポットとして、ますます注目を集めそうです。

同様にサンピラーの名前が付くものに、宿泊施設を備えた「なよろ温泉サンピラー」もあり、体の芯から温まるカルシウム・ナトリウム硫酸塩・炭酸水素塩泉の泉質が自慢です。

忘れてならないのが、最高レベルの雪質を誇るピヤシリスキー場。過去には国体会場にもなっており、FIS公認の大会会場にも認定されています。コースも多彩で、スノーモービルランドを併設。初心者から上級者まで幅広く利用されています。

このように名寄市は四季を通して、観光、レジャー、スポーツとさまざまな楽しみ方ができ、前出の倉澤係長は「以前、たくさんの方にお越しいた



新鮮な野菜類がズラリと並ぶ



サテライトスタジオから情報を発信

だいておりました智恵文のひまわり畑は、諸事情によりクローズしましたが、その代わりサンピラーパークが花イベントの会場になるなど、相変わらず名寄市ではお花で観光客をお迎えしています。風連はミズバショウ、スズラン、シバザクラの群生地があり、合併したことにより見所も増えました。冬は巨大火文字が現れる北の天文字焼き、国際雪像彫刻大会など北国ならではの祭りを行っています。どの季節も魅力あふれる名寄市へぜひ、お越し下さい。そしてグルメといえば、はくちょうもちの大福をお忘れなく(笑)」と、もち米のように粘り強く観光PR?

名寄市の情報は市のオフィシャルサイトはもちろん、道の駅「もち米の里☆なよろ」でも手軽に得られるので、ドライブでちょっと疲れたら、休憩を兼ねて上手に利用してみたいものです。



おさえたトーンが田園風景にマッチしている道の駅の外観